

- 「NICT 仙台リサーチセンター ワークショップ(第2回)」開催のご案内
～電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発～
 - 平成18年10月10日
-

情報通信研究機構(NICT。理事長:長尾 真)は、平成17年から「電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発」を実施しています。

本研究開発は、情報通信機器からの漏洩電磁波の低減・防止策の立案とその効果を確認するために、放射される微弱で周波数帯域幅の広い電磁波を機器の近傍において、高感度で正確に測定する技術の確立を目指しています。

つきましては「仙台リサーチセンター ワークショップ(第2回)」を、下記の要領で開催致しますので、ぜひご来場下さいますようお願いいたします。

【仙台リサーチセンター ワークショップ(第2回)】

- ◆日 時: 平成18年10月20日(金) 13:00～18:30
- ◆会 場: 「メルパルク仙台」(仙台市宮城野区榴岡5-6-51)
交通手段: JR仙台駅から徒歩10分
JR仙石線榴ヶ岡駅から徒歩3分
- ◆主 催: 独立行政法人 情報通信研究機構
- ◆内 容: 別紙「プログラム」参照
- ◆参加費: 無 料
- ◆参加申込方法: NICTのホームページ
<http://www2.nict.go.jp/q/q262/3103/event/senws02.htm>
からお申し込みください。
- ◆申込締切日: 平成18年10月17日(火)
* 定員100名を超えますと、ご入場をお断りすることがありますのでご了承下さい。

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総合企画部広報室
栗原 則幸、大野 由樹子
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<本委託研究事業及びワークショップに関する問合せ先>

情報通信研究機構 連携研究部門
産学官連携グループ
森田 和夫、伊東 紀夫
Tel: 042-327-6004

仙台リサーチセンター ワークショップ(第2回)プログラム
電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発

<挨拶> (13:00~13:20) <2階 松島(花)>

主催者挨拶	・情報通信研究機構 連携研究部門長	雨宮 明
来賓挨拶	・総務省 総合通信基盤局電波部電波環境課長	杉浦 誠
	・IEEE EMCS Japan Chapter Chair	
	東海大学 情報理工学部 教授	小塚 洋司
プロジェクトリーダー挨拶	・東北大学 名誉教授	荒井 賢一

<発表講演> (13:20~15:10)
高感度電磁波測定技術の研究開発

講演-1	高感度電磁波測定技術の研究開発進捗概要	太田 博康
講演-2	ループコイル型光磁界プローブの高周波化の検討	大場 裕行
講演-3	MOインディケータの研究と応用	安達 信泰
講演-4	磁気光学結晶の磁気異方性と高周波磁界検出特性の検討	川崎 克己
講演-5	磁性体の高周波磁気特性に及ぼす諸因子	石山 和志

< 休憩 > (15:10~15:30)

講演-6	光ビーム走査領域を拡大した電磁界測定システムの開発	高橋 正慎
講演-7	多機能集積回路によるマイクロ/ミリ波帯での高感度測定技術の検討	織笠 樹
質疑応答		太田 博康

<特別講演> (16:30~17:00)

演題: EMCの課題とNICTの役割

・東北大学 電気通信研究所 教授 杉浦 行

<挨拶> (17:00~17:05)

閉会挨拶 情報通信研究機構 理事 加藤 邦紘

<意見交換会> (17:15~18:30) <2階 松島(月)>

*プログラム内容等は変更されることがありますのでご了承ください。